

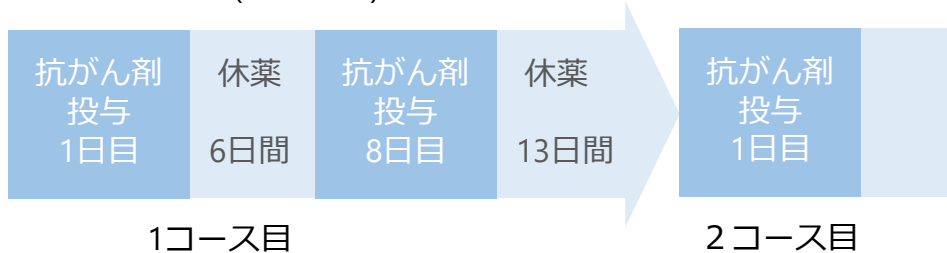
GC+ベバシズマブ療法を 受けられる患者様へ

治療について

GC療法とは、ゲムシタビン(G)とカルボプラチン(C)という
違う作用の抗がん剤を組み合わせる治療です。
ゲムシタビンとカルボプラチンは直接がん細胞に作用して、
増殖を抑制します。
一方、ベバシズマブはがん細胞に伸びてくる血管を抑えて、がん
細胞に栄養や酸素を与えないようにします。

投与スケジュール 今日 (/) は サイクル 日目

1日目に3種類の抗がん剤を点滴で投与します。
8日目はゲムシタビンだけを点滴で投与します。
21日間を一区切り(1コース)とします。



ここに示したスケジュールは参考であり、
患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

点滴で投与する薬について

デキサメタゾン*
パロノセトロン

吐き気止めのお薬です。
30分かけて投与します。

ベバシズマブ (mg)

抗がん剤です。
初回90分、2回目60分、3回目
以降30分かけて投与します。

ゲムシタビン*
(mg)

抗がん剤です。
血管痛が起こることがあります。
30分かけて投与します。

カルボプラチン
(mg)

抗がん剤です。
30分かけて投与します。

生理食塩液*

お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。

8日目は*印のお薬を投与します。

副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応
急性嘔吐

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

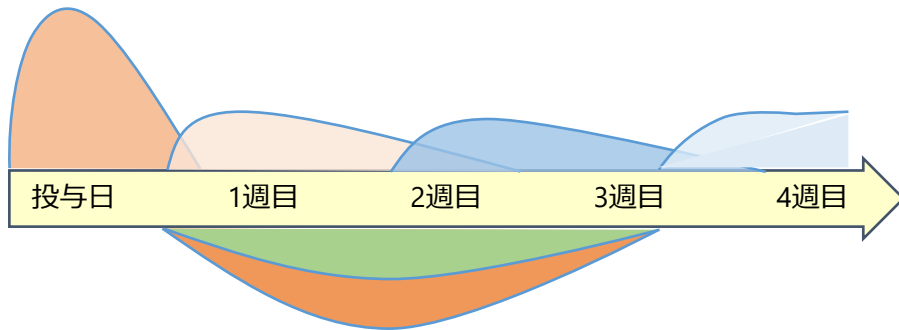
遅発性嘔吐
食欲不振
便秘 倦怠感

気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。

口内炎 下痢

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

味覚の変化



自覚できない副作用

肝障害 腎障害

白血球減少
血小板減少

感染予防のため、手洗い・うがいをしっかり行いましょう。38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。

内服薬について

1日目	2日目	3日目
		

吐き気止めのお薬です。吐き気が無くても服用してください。

ベバシズマブの副作用について

治療の継続に伴い、**高血圧**、**タンパク尿**がみられることがあります。血圧を下げる薬を使用することがあります。重篤な副作用として、**出血**、**消化管穿孔**、**血栓塞栓症**などが報告されています。血が止まらない、通常と異なる激しい痛みが生じた場合には、直ぐに病院に連絡してください。

日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部
川崎市中原区小杉町1-396 ☎(044)733-5181